



# 秋田県知事賞

## 『ネギ(夏扇4号)』

経営規模

○ね ぎ…1・3  
○水 稲…4・5 ha

いまの  
今野

つかさ  
司さん

(能代市浅内字成合)

初出品から3年連続  
秋田県知事賞を受賞

こだわりの土づくりで

高品質な白神ねぎを栽培

種苗交換会に初出品してから、3年連続で秋田県知事賞を取るといふ快挙を成し遂げた、今野司さん。父親の故・高道さんも、種苗交換会で3年連続秋田県知事賞に輝き、顕彰者として表彰されているねぎ作りの達人です。

受賞の感想を伺うと「品質のいいねぎができ、入賞する自信はあったが、結果を聞くまでは少し不安でした。秋田県知事賞を取れて本当にうれしいです」と今野さん。栽培が難しいと言われていた年でしたが、経験と技術、そして仲間からのアドバイスで乗り越えてきました。今野さんの圃場では病害虫、特に小菌核病が春先から多発し防除に苦労したそうです。

そのため、圃場巡回を欠かさず行い、週に1回の防除など徹底した管理作業を行って対策をとりました。また、営農指導員からの情報もとても役に立ったと話します。

今野さんの栽培のこだわりは「病害虫防除の徹底と土づくり」。病害虫防除はもちろんのこと、今年には堆肥をふんだんに使い、地力強化を図りました。その結果、昨年よりも太いねぎを収穫できたそ

うです。高道さんから受け継いだ栽培技術で高品質のねぎを生産しています。

成合地区は、顕彰者を含め秋田県知事賞を受賞する生産者が多数おり、ねぎの栽培が盛んな地区の1つです。「もつと父親から教えてもらいたかった」と話す今野さんですが、先輩農家や、今回農林水産大臣賞を受賞した、いとこの清水健吾さんからアドバイスをもらうなどして、栽培技術の向上を図っています。

今後に向けて今野さんは「サテライト型園芸メガ団地に挑戦し、面積拡大、知名度向上を図りたいです。また、父からの教えを守り、いい土を作り、いいねぎを消費者に提供していきたいです」と話してくれました。

